



Reitaku Overseas Development Association

RODA ニューズレター

一般財団法人 麗澤海外開発協会 会報

平成30年
(2018年)
8月5日

第25号

第16巻 第1号
年2回発行

主な記事

巻頭 会長挨拶（廣池幹堂）

報告 タイ・スタディツアー報告/平成29年度事業報告

その他 学生プロジェクトの活動報告

会費・竹原基金等のご報告と振込先等のご案内

発行所：一般財団法人麗澤海外開発協会

〒277-0065 千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL. 04-7173-3165 FAX. 04-7173-8953

<http://www.reitaku.or.jp>

発行人・木下廣太郎／編集人・横山守男

心の通い合う国際協力と 若い世代の育成を

一般財団法人 麗澤海外開発協会

会長 廣池 幹堂



麗澤海外開発協会は、総合人間学モラロジーの創建者・廣池千九郎（法学博士・1866～1938）の遺志に基づき、「開発途上国において文化・経済の発展に協力するため、国際協力活動を通じて、世界の平和、人類の安心と幸福の増進に寄与すること」を目的に、昭和46年（1971）、

外務省所管の財団法人として設立されました。以来、微力ながらも開発途上国への貢献活動に取り組み、平成25年4月には内閣府より「一般財団法人」として認可されました。今日までご支援を賜りました多くの皆様に、あらためて深く感謝申し上げます。

現在は、主にタイ北部の少数民族の子供たちへの教育支援、ラオスやカンボジアにおける学校建設等への支援、ネパールにおける医療支援、海外での自然災害に対する緊急支援等を行っています。また、当協会の副会長でラオス出身の竹原茂・麗澤大学名誉教授の名を冠した「竹原基金」を設置して、貧困等の理由で学校に通えないアジアの子供たちへの教育支援を進めています。平成26年度には、アジアからの留学生招聘事業もスタートし、現在4人目の留学生としてラオス国立大学の学生ハナコ・ルアンアパイさんが麗澤大学の別科日本語研修課程で学んでおり、今年の9月には新たにネパールから1名を招聘する予定です。さらに、わが国の青少年育成に資するべく、タイ、ラオス等へのスタディツアーも実施しています。参加した学生・生徒・青年は、訪問国の人たちとの交流や現地での生活体験を通して、国際協力についての理解を深め、志を大きく育てています。

世界の平和、人類の安心と幸福の増進に貢献する人材を一人でも多く育てていくことは、私たちの使命です。今後もささやかではありますが、これまでの実績を踏まえて若い世代の育成にも貢献し、心の通い合う国際協力をいっそう推進していきたいと願っています。

第14回 タイ・スタディツアーを開催



平成30年2月20日～3月1日（チェンライ、チェンマイ）



平成30年2月20日から3月1日までの10日間、第14回のスタディツアー（行先：タイ王国）を開催しました（参加者6名）。当協会が長年支援してきたタイ北部のメーコック財団（※1）や、ルンアルン（暁）プロジェクト（※2）に主に滞在してタイの文化に触れ、子供たちとの交流や様々なボランティア活動を行いました。麗澤大学の4名の参加者にとって、それぞれが将来の自分に何ができるかを考える貴重な機会となり、たいへん意義深い旅となりました。



子供たちと食器の片づけで交流



メーコック財団の子供たちと



メーコック財団にてボランティア活動

メーコック財団（※1）

1991年にチェンライ（タイ北部）において観光による地域の発展のための活動をしていたピパット・チャイスリン氏（2009年没）が、竹原茂副会長等と立ち上げた。「子供たちの生活支援・教育支援」をしながら、観光客を受け入れている。現在はアノラック・チャイスリン氏（ピパット氏の妻）が責任者となり、23名の子供たちと共同生活をしながら、観光客の受け入れ等を行っている。



研修生と参加者の交流



「暁の家」が所有しているコーヒー農園にて



コーヒー豆の収穫体験

ルンアルン（暁）プロジェクト（※2）

代表の中野穂積氏が山岳民族の中高生を対象に、安定した生活と職業訓練の機会を提供するため1987年に設立。30年近く共に生活しながら、生徒たちの仕事、登校、学習などを指導・支援している。近年は職業訓練プログラムを行い、4名の青少年が学校外教育を受けている。また有機農法によるコーヒーの栽培と販売を通して、地域の持続可能な生活向上をめざして活動している。

参加者の声



麗澤大学 外国語学部 国際交流 国際協力専攻 1年 M. I

メーコックの子供たちは、幼少の子から私と近い年齢の子までたくさんいて、幼少の子は抱きついてきたりして本当にかわいかった。年の近い女の子はすごくしっかりしていて家事をたくさんやっていて偉いなと思った。みんなと一緒に食器洗いをしたり、出かけたりして、みんなと少しずつ仲よくなれている気がして嬉しかった。夜の勉強会で、日本語を教えたり、逆にタイ語を教えてもらったり、私自身も勉強になってすごく楽しかった。

親と一緒に暮らせなかつたりして、本当は悲しい気持ちもあると思うのに、アノラックさんのお話を聞いて、みんな本当に元気で楽しそうに生活していて、みんなの笑顔に私がたくさん元気をもらってしまった。メーコックの子供たちみんなが私たちの名前を覚えてくれて、たくさん呼んでくれて本当に嬉しかった。

約10日間という短い期間だったけれど、絶対に忘れられない思い出になった。ルンアルンにもメーコックにもまた必ず行きたいと思った。



ゴールドトライアングルにて



ラフ族の村で象乗り体験

麗澤大学 外国語学部 国際交流 国際協力専攻 1年 Y. Y

私は今回タイ・スタディツアーに参加して、初めてタイを訪れた。一番強く感じたことは、タイは日本ほど裕福なわけでもないのに、タイの人はみんな楽しそうで温かく、なにより自由そうに見えて良い国だと思った。タイは微笑みの国と聞いたことがあったが、本当にその通りだと思えるほど、行く場所でみんなが笑っていて楽しそうだった。

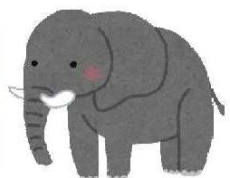
麻薬の問題を身近に感じることもできたが、それを感じさせないほどタイ人はフレンドリーで明るくて、子供たちもみんな笑顔で、10日間という短い滞在期間ではあったが、タイという国はこんなにも温かく日本人には優しい国だと感じる事ができ、またすぐにタイに行きたいと思えるようなとても良い期間だった。



メーコック財団の子供たちとボランティア活動



ラチャパット大学の学生と交流



麗澤大学 外国語学部 外国語学科・英語コミュニケーション専攻 1年 K. T

コーヒー豆の収穫や象乗り体験、少数民族の村訪問など、タイならではの貴重な体験をたくさんすることができました。行く場所すべてが初めて見るものばかりでとても新鮮で、ナイトマーケットや市場での買い物では、値切りをしたりおまけをもらったりしてお店の方と会話をすることもあり、タイ人の人柄の良さを感じました。タイで食べた料理はすべて美味しく、特にカオマンガイとパッタイは私が以前から好きな料理だったので、本場で食べられたことがうれしかったです。

この10日間のスタディツアーを振り返って、日本にいただけではできないようなたくさんの経験ができ、多くの出会いがあったことは私にとって本当に幸せなことだったと感じています。今回学び感じたことを忘れずに、これからの学生生活をより良いものにしていきたいです。

麗澤大学 国際協力団体 Plas+

カンボジアのトム・オー小学校で 「安全な学び場づくりプロジェクト」を実施

平成30年2月7日から27日まで、麗澤大学国際協力団体（自主企画ゼミナール）Plas+（プラス）はカンボジア研修を行いました。昨年に引き続き、麗澤海外開発協会（RODA）が建設に関わったトム・オー小学校を訪問し、同小学校における「安全な学び場づくりプロジェクト」を実施しました。

「安全な学び場づくりプロジェクト」

カンボジアのコンポントム州トム・オー村で唯一の小学校であるトム・オー小学校は、平成20年（2008）に麗澤海外開発協会（以下 RODA）の資金援助によって建設されました。この小学校には約180名の生徒が通っていますが、過去の調査から校庭内にバイクや車が侵入し、子供たちが安全に安心して運動等ができないことが判明しました。そこで、トム・オー小学校に通う子供たちが安心して過ごすとともに安全な環境で学べるためのプロジェクトを考案し、小学校の四方を囲う頑丈な塀を建設することになりました。



完成した塀の一部

「塀完成セレモニー」を開催

RODAをはじめ、たくさんの方々のご支援とご協力のおかげで、子供たちを守る塀をトム・オー小学校に建設することができました。このトム・オー小学校における「安全な学び場づくり」プロジェクトの集大成でもある塀完成を記念して「塀完成セレモニー」を開催したところ、ご多用の中、トム・オー村の方々、トム・オー小学校の先生方、RODAの役員等にご参列いただき、受け入れ担当者のソパートさんのサポートのもと、無事に終了することができました。

- ① 開会宣言
- ② 来賓紹介
- ③ サندان郡長挨拶
- ④ 国歌斉唱（カンボジア、日本）
- ⑤ Plas+から歌のプレゼント
- ⑥ トム・リン市長挨拶
- ⑦ Plas+結成メンバー挨拶
- ⑧ RODAの木下廣太郎氏挨拶
- ⑨ RODAから文房具の贈呈
- ⑩ 感謝状とクロマー（カンボジアスカーフ）の贈呈
- ⑪ リボン・カット
- ⑫ 植樹
- ⑬ 手作りカンボジアカレー・昼食
- ⑭ 子供たちとのダンスタイム



RODAの方々といっしょに

【塀建設のための募金活動】

「伝統の日」における展示と物品販売



- | | |
|---------------|-----------|
| ① 物品販売(募金活動) | 233,885 円 |
| ② クラウドファンディング | 635,160 円 |
| ③ 企業協賛 | 92,800 円 |
| ④ 募金活動 | 431,718 円 |
| ⑤ 政策提言コンテスト | 100,000 円 |

＊塀建設の募金活動を開始する以前に頂いた RODA からの補助金 20 万円も、塀建設費用に充てられました。〈合計 1,693,563 円〉

2 年前から Plas+ のプロジェクトとして実施していた、カンボジアにおける塀建設は、日本・カンボジア両国の多くの方々の温かいご支援・ご協力によって無事に完了しました。この場をお借りして、ご支援・ご協力をいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

「出前授業」を実施

トム・オー小学校において「出前授業」を実施しました。

- ① Plas+ の紹介
- ② 昨年の出前授業の振り返り(アイスブレイク)
- ③ カンボジア語を用いた劇

前回よりも子どもたちにカンボジア語が通じ、笑顔になってくれたことに大きな手応えを感じました。

- ④ アームリフレクター(反射バンド)の使い方
- ⑤ 塀に関する注意事項



手応えを感じたカンボジア語劇

大好評だった「運動会」

- ① 準備運動
- ② 綱引き

子供たちに大好評で、勝敗が分かりやすく、見ている人たちもハラハラするため、一体感も生まれていました。

- ③ 障害物競走



「綱引き」では一体感も生まれた



この人に聞く



RODA招聘の留学生として麗澤大学で学んだ ハナコ・ルアンパイさん

麗澤海外開発協会(以下 RODA)では、平成26年度より東南アジアからの留学生招聘事業を行っています。そこで、RODAによる4人目の留学生として平成29年9月から麗澤大学別科日本語研修課程で学び、今年8月に帰国するハナコ・ルアンパイさん(ラオス)に、この1年間の留学生活等についてお聞きしました。

1. 昨年9月に来日され、8月初旬にはラオス帰国されます。最初に留学生活についてお話しください。

私はラオス国立大学日本語学科3年生で、学校では日本文化や社会、歴史等を学んでいたのですが、来日しても特に驚くことはなかったのですが、それでも通勤・通学ラッシュでの満員電車には驚きました。麗澤大学別科日本語研修課程での授業は、週末には次週の授業内容について先生から詳しい説明があり、事前に予習して授業に臨むことができたので、日本語能力はとても向上したと思います。また、日本人学生からの学習サポートがあり、生活面も含めてたいへん助かりました。おかげで、昨年末の日本語能力試験ではN2に合格することができました。

2. 日本のさまざまなところに旅行されたようですが、その場所と感想をお話しください。

北海道、関西(京都、奈良、大阪、伊勢)、ディズニーランド、東京都内などに行きました。いずれの場所もすばらしく、美しく、きれいでしたが、北海道の雪を見て触ったときには感激しました。日本の歴史、文化に直接触れ、ますます日本が好きになりました。また、日本の食べ物はどれもおいしく、特に寿司、さしみ、焼き肉、しゃぶしゃぶ、とんかつ、ラーメン、うどん、たこ焼きなどが好きな食べ物です。

3. この1年間は長かったですか、それとも短かったですか。

とても短かったと思います。あっという間に過ぎ去ったような気がします。勉強、友人、アルバイト(キャンパスプラザ会員会館)、日本食、旅行、ショッピングなど、とても充実していて夢のような1年間でした。

4. アルバイトでは、日本語の勉強に役立ちましたか。

たいへん役立ったと思います。私はこれまでアルバイトをしたことがなく、初めてのアルバイトでしたので、最初は不安があり、とても緊張しましたが、先輩から敬語等を教えていただき、お客様との会話を通して学校では学べない日本語も学ぶことができました。

5. RODAのサポートはどうでしたか。

私はRODAの奨学金のおかげで、麗澤大学に1年間留学することができました。RODAにはあらゆることでお世話になりました。食事、旅行、さまざまな事務手続き、日本語の学習、寮での学生サポート等、何かあったときには躊躇せずに相談でき、問題を解決することができたので、なんの不安もなく1年間生活することができました。たいへん感謝しています。

6. 今後について

8月にラオスに帰国し、ラオス国立大学の4年生になり、卒業論文などに取り組み、卒業後は、ラオスの日本大使館が行っている日本留学試験を受験します。それに合格できたら麗澤大学大学院の日本語教育学専攻に進み、さらに日本語能力を高めて、将来はラオスで日本語の教師になりたいと思っています。

— 平成29年度 事業報告 —

1. 支援事業への助成について

- (1) タイ北部チェンライ県で、生活が困窮している少数民族の児童に対して生活・教育支援施設の運営事業を実施している、「メーコック財団」に対して支援と助成を行った。
- (2) 同チェンライ県で、農業技術支援と教育支援を行っている「ルンアルン（暁）プロジェクト」に助成した。
- (3) 東南アジアからの留学生への教育支援を行った。
 - ① ラオス国立大学文学部日本語学科から4人目の留学生を招聘した。
 氏名：ルアンアパイ・ハナコ (LUANGAPHAY Hanako) 21歳 女性 ・留学先：麗澤大学 別科日本語研修課程
 期間 平成29年9月8日～平成30年8月初旬（1年間）
 - ② 麗澤大学で受け入れているブータンからの留学生に対し、麗澤大学国際交流センターと連携をとりながら支援を行った。
- (4) ネパールにおいて東洋療法（鍼灸・指圧）により、住民の健康回復に寄与するため、無医村に訪問して無料巡回治療（ヘルスキャンプ）を実施した「ネパール赤十字シタパイラ支部」に助成を行った。

2. スタディツアーの実施について

- (1) 東南アジア諸国で活動する支援団体等の現状を視察し、海外ボランティア活動に理解を深めるためにスタディツアーを実施した。
 - ① タイ・スタディツアー
 - ・訪問先 タイ（メーコック財団、ルンアルン（暁）プロジェクト）・日程 H30/2/20～3/1（10日間）
 - ・参加者 6名（引率：桑島事務局員、益田事務局員）
 - (2) 麗澤高校が主催するタイ・スタディツアーへの支援と協力を行った。
 訪問先：タイ（バンコク・チェンライ 日程：H29/12/21～12/29（9日間）参加者：18名（引率：折笠教諭、丹羽教諭）
 - (3) 麗澤大学外国語学部国際交流・国際協力専攻（IEC）の学生が企画した海外ボランティア活動に助成を行った。
 - ①ネパールの小中学校における減災授業及び震災復興ボランティア作業
 団体名：Be a Bridge 訪問先：ネパール（カトマンズ） 日程：H29/8/18～8/27（10日間） 参加者：12名
 - ②カンボジアの小学校の塀の贈呈式、出前授業及びボランティア作業
 団体名：Plas+ 訪問先：カンボジア（シュムリアップ、コンポントム州）トム・オー小学校
 期間：H30/2/7～2/18（12日間） 参加者12名

3. 研究・調査について

- (1) ラオス国立大学を訪問し、今後の留学生招聘についての打ち合わせを行った。
 訪問先：ラオス（ビエンチャン） 日程：平成29年10/16～10/23
 訪問者：竹原茂（副会長）、木下廣太郎（事務局長）
- (2) ネパール、カンボジアの支援先を訪問し、現地の現状を視察し、今後の方針についての打ち合わせを行った。
 訪問先：ネパール（カトマンズ、アネコット村等）カンボジア（シュムリアップ） 期間：H30/2/9～2/16
 訪問者：木下廣太郎、小西直之、俣野幸昭（ネパール・カンボジア）井上源一、長谷篤治（ネパール）

4. 広報活動について

- (1) ニューズレター第23号（平成29年7月20日）第24号（平成30年2月22日）を発行した。
- (2) ホームページを更新した。

5. 出展活動について

当協会の活動に理解や支援者を募るため、会員の募集や写真展示等を行った。

- (1) 「伝統の日・感謝の集い」
 日程：平成29年6/3、6/4 場所：廣池学園中央広場

6. 賛助会員等の募集状況について

- (1) 賛助会員、寄付金、竹原基金の募集を行った。
 - ① 賛助会員 155件 ③ 寄付金 147件
 （個人145件、団体10件）
 - ② 準会員 28件 ④ 竹原基金 69件

平成29年度 正味財産増減計算書

（単位 円）

経常収益の部		経常費用の部	
①基本財産運用益	187,327	I 事業費	
②特定資産運用益	2,225,595	①消耗品費	26,397
③賛助会員受取会費	2,410,000	②通信運搬費	126,099
④準会員受取会費	64,000	③旅費交通費	38,648
⑤受取寄附金	1,217,703	④食費宿泊費	30,835
⑥受取竹原基金寄附金	683,179	⑤海外旅費	2,713,262
⑦受取ツアー参加費	1,532,000	⑥報酬委託手数料	7,500
⑧受取利息	123	⑦広報活動費	185,760
⑨雑収益	0	⑧雑費	57,171
経常収益合計	8,319,927	⑨支払助成金	3,312,109
		事業費合計	6,497,781
		II 管理費	1,608,075
		経常費用合計	8,105,856
		当期正味財産増減額	214,071

たくさんのご支援、ありがとうございます

<平成29年度> 掲載に同意された方をご紹介します(順不同)

■会費

廣池幹堂, 甲良昭彦, 山口明, 大橋政夫, (株)ピアかざりや, 新井秀啓, 内田八代, 長谷和治, 土谷和光, 荒木郁雄, 今井收, 所一彌, 渡辺康博, 岸上肇, 高松宇佐雄, 横山守男, 小松務, 山本祥子, 大山寿々枝, 橋本半兵衛, 大谷誠之, 望月靖子, 石渡英雄, 山本浩, 桑山清和, 板垣廣光, 長谷篤治, 山田雅雄, 佐藤薬品工業(株), 大垣モラロジー事務所, 小野剛, 松本哲洋, 小西直之, 望月一雄, 古川定邑, 伊藤豪人, 古川定邑, 俣野幸昭, 桑島義智, (株)小松製菓, 小山松男, 小嶋義佑, 長谷川和子, 東海林新彦, 井上源一, 堀内一史, 太田徳昭, 今木康之, 増田一江, 水田恵一郎, 小林雅純, 中川千恵子, 伊東俊太郎, 永治達彦, 島田京子, 木下廣太郎, 濱井利一, 上田通泰, 野田雅義, 福井博康, 桑島朋子, 平塚靖永, 須見好和, 上田敏子, 松岡孝稔, 横山明弘, 三木実, 関口輝比古, 長谷真千子, 河村満, 松本彰夫, 澤田栄作, 菅間正則, 井川好長, 岩田英志, 柏谷康博, 横山印刷(株), 関哲夫, 竹原茂, 淡島成高, 藤村薫, 山口秀正, 菅澤運一, 藤尾侑男, 田中一宏, 橋本賢, 田中聖則, 新井日出子, 北川治男, 村瀬泰比古, 鈴木貞夫, 森口真美, 八代京子, 長谷享治, 小峰進, 小野義仁, 肥塚憲造, 能勢千晴, 青木久子, 益田晴華, 伊藤温夫, 赤松良平, 田口英樹, 加藤純一, 細野眞, 奥光明, 吉井通裕, 三木重充, 富士俊隆, 大橋龍雄, 加島亮伸, 西邑喜代子, 足立モラロジー事務所, 株式会社タクスエ, 東京港モラロジー事務所, 世田谷北沢モラロジー事務所

■準会費

望月敏雄, 阿折淑子, 小西幹夫, 俣野貴昭, 木村寛, 俣野智美, 大山圭子, 長谷英治, 長谷憲治, 高野橋健吉, 三浦順治, 安田誠一, 野川裕史, 尾崎哲子, 加藤知泰, 佐藤惇, 林善介, 植草翔太, 山崎優里奈, 伊藤舞, 高橋小鞠

■一般寄付金

廣池幹堂, 山口明, 内田八代, 長谷和治, 土谷和光, 渡辺康博, 横山守男, 山本祥子, 橋本半兵衛, (株)ダイキョープラザ, 所一彌, 長谷篤治, 山田雅雄, 俣野幸昭, 山崎純雄, 小嶋義佑, 長谷川和子, 上田通泰, 大住敬一, 福井博康, 荻野益男, 平塚靖永, 澤政利, 井上照悟, 俣野貴昭, 神田和, 松岡孝稔, 風澤俊夫, 木崎重安, 俣野智美, 菅澤運一, 大山圭子, 長谷憲治, 橋本賢三, 杉山雄彦, 橋本光世, 木村寛, 東海林新彦, 三浦順治, 山川香, 山田武司, 森口真美, 濱井悠史, 小野義仁, 肥塚憲造, 青木久子, 伊藤温夫, 麻野純一, 石田弘, 板橋芳夫, 井上貢一, ウィクラマラタナ文子, 柿本勇人, 笠田環嗣, 勝矢啓司, 北敬子, 橋高重久, 澤田修一, 早乙女静子, 佐久間三郎, 七條泰法, 島崎執, 清水実, 鋤柄誠治, 鈴木強, 関俊章, 高坂賢吉, 中津川達雄, 西畑光廣, 西脇照男, 橋富英仁, 早河順子, 弘哲彦, 藤本秀信, 増田顕次郎, 松島利允, 松浪進, 三浦洋嗣, 光安輝雄, 宮田敏子, 御代川克之, 吉田夏子, 三上ハツミ, (株)ダスキン東横, 大阪旭モラロジー事務所, 大阪和泉モラロジー事務所, 静岡県モラロジー協議会女性クラブ, 高松モラロジー事務所, 東京都モラロジー協議会, 栃木市モラロジー事務所, まんりよの会, 浜松西モラロジー事務所, 四日市西部モラロジー事務所, 宮城県北部モラロジー事務所, 相生モラロジー事務所

■竹原基金

廣池幹堂, 山口明, 内田八代, 長谷和治, 竹原茂, 荒木郁雄, 横山守男, 山本祥子, 大山寿々枝, 柏谷康博, 橋本半兵衛, 所一彌, 長谷篤治, 山田雅雄, 山本浩, 俣野幸昭, 桑島義智, 小嶋義佑, 東海林新彦, 島田京子, 濱井利一, 上田通泰, 福井博康, 荻野益男, 桑島朋子, 松岡孝稔, 三木実, 澤田栄作, 長谷川和子, 横山明弘, 大山圭子, 森口真美, 八代京子, 小野義仁, 青木久子, 伊藤温夫, 山田莊一, 片山道則, 加藤信次, ウィクラマラタナ文子, 桑島祥子, 小林一正, 鋤柄誠治, 西畑光廣, 長谷川卓司, 三浦洋嗣, 光安輝雄, 支援キルトの会ふーふ, (株)めこん

《会員・準会員募集中》

麗澤海外開発協会は皆様からお寄せいただいた会費や寄付金によって活動しています。
会員および準会員を募集していますので、是非ご入会いただきますようご案内いたします。

種類	年額
会費	1口1万円(1口以上)
法人会員	1口1万円(1口以上)
準会員	1口2千円(1口以上)
寄付金	任意の寄付金を募ります
竹原基金	任意の寄付金を募ります

※通信欄に寄付等の種類をご記入ください

郵便振替：口座番号 00120-6-499164

名義/一般財団法人 麗澤海外開発協会

銀行口座：三菱UFJ銀行松戸西口支店 普通 4057567

名義/一般財団法人 麗澤海外開発協会

一般財団法人 麗澤海外開発協会 事務局

〒277-0065

千葉県柏市光ヶ丘2-1-1

TEL: 04-7173-3165

FAX: 04-7173-8953

E-mail: kaikyo@ad.reitaku-u.ac.jp

HP: http://www.reitaku.or.jp/



会費、寄付金をお寄せいただいた方のお名前は、会報に掲載させていただきます。掲載不要の方は、振込用紙の通信欄にその旨をご記入いただくか、事務局までお知らせください。ご連絡のない場合は掲載に同意いただいたものいたしますので、ご了承ください。